

広報・教育部門

応募事例名

じゅんかん育ちin佐賀

応募団体名)佐賀市上下水道局

応募事例の概要

佐賀市下水浄化センターでは下水汚泥の堆肥化を平成21年より実施しており、地元農家等に対する農業勉強会の開催など肥料の有効性や安全性の啓発に努めてきました。

下水道発食材が「じゅんかん育ち」と命名されたことも踏まえ、下水汚泥肥料の更なる普及促進、農産物の品質の高さをアピールする目的として、地元園児との芋掘り体験等の継続に加え、下図の取組みを実施し、その様子は新聞やテレビでも報道されました。

ブランド力UP じゅんかん育ちシールの作成・配布

じゅんかん育ち in 佐賀

知ってもらおう

じゅんかん育ち展示会



H28~
2年連続出展中

さが環境フェスティバル 佐賀市 H29.10.14~15

食べてもらおう

じゅんかん育ち試食会



GKP未来会in九州 長崎大学 H29.10.23

じゅんかん育ちのように食につながることを知り、下水道すべてが汚いというわけではないとわかった (学生の声)

買ってもらおう

じゅんかん育ち販売会

化学肥料をほとんど使っていないので、安心して食べられる (購入者の声)



イオン九州 佐賀市 H30.1.19~21

H27.1 佐賀市長

H27~
4年連続出店中

■PRポイント

シールを用いてイベントで展示、販売することで他の農産物との差別化・ブランド力UPを図るとともに、試食してもらうことで品質の高さを実感していただきました。

また、じゅんかん育ちの紹介に際しては、下水汚泥肥料の安全性に関する分析結果や、下水汚泥肥料を用いている農家における具体的な効果(経費削減、収量UP等)の事例を紹介するなど、より説得力の高い広報を図っています。

■具体的効果について

学生や主婦など幅広い世代の方々に「じゅんかん育ち」の素晴らしさを感じて知っていただき(参考:上図の学生・購入者の声)、循環資源としての下水道のプレゼンス向上につながったと考えています。

加えて、下水汚泥肥料の効用も知っていただき、肥料の毎年完売にも寄与しているものと思われま